

『失われた時を求めて3 花咲く乙女たちのかけに I』おもな登場人物

私

主人公、語り手。裕福なブルジョワ家庭に生まれる。コンブレーでの幼少期を経て、本巻では文学者を志す若者になっている。

スワン

ユダヤ系公認株式仲買人の息子。藝術に造詣が深い。パリ社交界の寵児であったが、オデットと結婚後は娘を可愛がる父親になっている。

スワン夫人

オデット。かつては裏社交界の高級娼婦^{コックソット}だった。娘を産んだあとスワンと結婚。やがてサロンを開く。語り手の憧れの対象。

ジルベルト

スワンとオデットの娘。語り手が想いを寄せる少女。

語り手の父

厳格だが家族に優しい父親。息子の前途を心配している。

語り手の母

理知的で控えめな女性。語り手の深い愛情の対象。

ノルボワ侯爵

元大使。「父」の同僚。スワン家にも出入りする。

コタール教授

ヴェルデュラン家のサロンの常連で医師。現在は大学教授。

コタール夫人

スワン夫人の友人。ヴェルデュラン家にも出入りしている。

ヴェルデュラン夫人

裕福なブルジョワ。自宅サロンに気に入った人びとを招く。

ベルゴット

語り手が愛読する作家。スワン家に入入りしている。

ラ・ヘルマ

大女優。ラシーヌ『フェードル』に主演。

フランソワーズ

語り手一家に仕える女中。すばらしい料理の腕前を持つ。

DIC
142p

DIC
212p



失われた時を求めて3

しおり (裏面)

3

失われた時を求めて3

しおり (表面)

DIC
142p

DIC
212p



失われた時を求めて3

しおり (表面)